

# 9 丁 目 の 仲 間

発行元 社会福祉法人東京援護協会 大泉障害者支援ホーム

連絡先 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町9-4-2

電話 03-3978-5581(代) 03-3978-5595(入所直通)

ホームページ <http://www.tokyoengokyokai.or.jp/13oizumi/>



## 令和5年度スタートです！



今年初めて、春の茶話会で外で玉入れゲームを楽しみました。GWには公園に行きましたよ！



施設長 森永桂子

向暑の候、木々の緑も一層深まり、夏を感じる季節となりました。

皆様におかれましては、元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症分類が、5月8日を以って、5類へ移行しました。

以降、街を歩く方、電車を利用する方々のマスク装着率も目に見えて減少してきているのを実感しています。しかし、5類移行後の感染者数は、6月現在緩やかに増加傾向であり、高齢者施設でのクラスターの発生も耳にします。利用者は感染症から守りたい、けれども、過度な制限にならぬよう世の中の動きに合わせた形で日常を楽しんで頂きたいと、利用者支援においてどこにバランスを置くべきなのか、悩ましい感じがしています。

そのような中、先日、入所では、チーム対抗の「vivo大運動会」を行いました。

借り物ゲーム、玉入れ競争等々、利用者として入所職員とでチームを組み、4チームで各競技の総合点を競い、とても盛り上がりました。コロナ禍では、大きな声で応援したり、皆で励まし合って一緒に何かを行う機会がほとんどなかったこともあり、一体感のある熱のこもった行事となりました。青空の元で太陽の陽を浴びて、大きな声を出し、体を動かし、そして競技に参加できた満足感溢れる笑顔… その日の夜は、皆さんぐっすり良眠されていました。

毎日が運動会というわけにはいきませんが、メリハリのある生活を過ごす事やお互いの仲間意識を共有する事の大切さを改めて感じました。利用者皆さんの喜ぶ表情を拝見できた事で、職員にとっても大変有意義な行事となりました。そして我々の福祉の仕事は、はっきりと正解がでる仕事ではないことを改めて思いました。支援をさせていただく中で、“これで良いのかな”、“他に方法はないのかな”の毎日です。その場その時の状況の中で、チームで支援のベストを探っていく事が、福祉の仕事であり、やりがいでもあります。

コロナ5類移行後の感染状況や動向を見つつ、コロナ禍で会得した生活上の工夫を強みとしてこれからも利用者の皆様に喜んでいただける支援に努めていきたいと思っております。



# 入所



## 電動車いす寄贈して頂きました。

公益財団法人みずほ福祉助成財団より「電動車いす(スズキモーターチェア)」の寄贈があり、令和5年1月18日当施設で「電動車いす贈呈式」を行いました。公益財団法人みずほ福祉助成財団専務理事の武田様、東京善意銀行の大西様、(株)スズキ自販東京の岡村様がお出席してくださいました。希望する利用者さんが試乗体験を行い、大変喜ばれていました。生活支援係長 大津 律子



最初は怖かったけど、慣れるとスーイスイ！頬に当たる風が気持ちいい(\*^\_^\*)



## VIVO 大運動会開催しました。



職員も一緒に戦って楽しくかった～！



マッダー！

「第1回 vivo 大運動会」が5月28日(日)に行われました。グリーン、ブルー、イエロー、ピンクの4チームに分かれ「借りもの競争」、「玉入れ競争」、全員参加の「ボール渡しリレー」で点数を競いました。今年の優勝は加藤主任の率いるイエローチーム！！来年は他のチームの皆さんも頑張って優勝をねらってくださいね。生活支援係 佐々木 玄



## 事例研究報告会を開催しました。

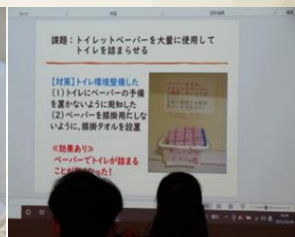
令和5年3月8日、施設職員を対象に事例研究報告会が行われました。当日は2名の職員が、それぞれの担当する利用者の「支援課題に対する」取り組みについて、経緯と結果を報告しました。いずれの事例も職員一人だけでは解決が難しいケースワークで、係の職員全員がチームとして取り組んできたものです。テーマは排泄に関するものと利用者の拘りに関するものですが、課題への様々な取り組みを長期間に亘って実施する過程を記録、分析し、解決及び改善方法を導き出しました。今後も、このような事例研究を年間を通じてグループワークで実施して、利用者支援の質及び職員の支援力向上を目指してまいります。生活支援係主任 加藤 和人



\* 事例研究会の様子



\* 研究を報告する職員



\* パワーポイントを活用して説明



\* 写真もフル活用

一ページ目  
事例研究報告会



韓国から福祉団体の見学ツアーを受け入れました。

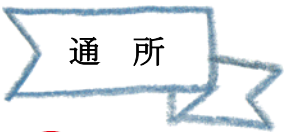
# 韓国からのお客様



안녕하세요  
アンニョンハセヨ!



令和5年5月17日(水)韓国から30名の福祉団体の方が施設見学で来所されました。動画や写真での説明の後、施設見学をしました。途中、リフトや浴室、居室、水耕栽培などとても興味深く見学されていました。その後、運営についてや強度行動障害の方に対する支援方法など、日本と韓国の福祉の違いに感心を寄せられていました。最後は全員で記念撮影をしました。とても貴重な体験となりました。  
次長 増田 律子



通所



入所式を行いました。



おめでとう!



4月3日(月)、外では桜の花びらが舞う中、新しく2名の利用者をお迎えしました。緊張の中、職員や先輩の利用者からの温かい気持ちと説明を受けて、決意に満ちた表情でしっかりと挨拶されました。記念撮影もバッチリでしたね。これから仲間として、一緒に仕事や活動に充実した日々を過ごしていきましょう。

就労支援係主任 本野 央



春の茶話会。



「春の茶話会」が4月21日(金)に開催されました。活動室でのソーラン節では、練習の成果が存分に発揮でき、とても迫りに満ちた一体感ある発表ができました。天気にも恵まれた大泉ガーデンでの玉入れは、自分たちで作った球を投げ入れパーフェクト!とても楽しかったですね。

お弁当も美味しく、いい思い出となりました。

就労支援係主任 本野 央



# 小林眼科嘱託医が、退職されました。



S59年の施設開設の時からお世話になった眼科嘱託医の小林医師が退職となりました。39年の長きにわたり利用者の健康管理にご尽力頂き、法人より感謝状をお贈りしました。



THANK YOU  
Dr Kobayashi



## 人事異動



### 【転出】



平成18年4月1日指定管理を受けて以来17年間、「第2の青春時代」を大泉学園で過ごしました。当時私にとって練馬区はほとんど知らない地域でしたが、これ程長く勤める事になるとは思っていませんでした。東京都のプロジェクトをいくつも経験し、その集大成とも言える「施設の建替工事」と「水耕栽培レタス作業の立ち上げ」には準備から約5年間関わらせていただきました。なかなか経験できない大きなミッションを成し遂げることができたのも、「大泉のゆかいな仲間のおかげだと思っています。新たな職場である「関町福祉園」でも、これらの経験を活かして明るく元気に取り組んでいきます。これからも皆様が楽しく、健やかな毎日をお過ごしされることをお祈りしております。今まで大変お世話になりました、ありがとうございます。」  
阿部 剛

### 【転入】



4月より次長（就労支援B型事業係長兼務）となりました、増田と申します。これまで、板橋区で就労支援B型事業と生活介護事業で仕事をしておりました。その経験を活かし、大泉障害者支援ホームの利用者の皆様が、安心・安全に過ごし、笑顔がたくさん見られるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。  
次長 増田 律子

### 【転入】



4月より、前野高齢者在宅サービスセンターから、大泉障害者支援ホーム就労支援係に異動して参りました、主任の本野央（もとあきら）と申します。これまで高齢者介護を中心に務めてまいりましたが、これから9丁目の仲間として、利用者支援が十分にできるような、頑張らせていただきます。よろしくお願い致します。  
就労支援係主任 本野 央

### 【転出】



4月から田柄福祉園で働き始めました。新しい職場の覚えることがたくさんあり、いっぱいですが、いろいろと教えて頂き、段々と慣れてきています。これからも頑張りたいと思います。  
野口 暁子

### 【転出】



4月1日付で田柄福祉園に配属になった鈴木裕紀子と申します。田柄福祉園では大泉障害者支援ホームで経験したことを活かせるように精進して参ります。ありがとうございます。  
鈴木 裕紀子

### 【新規採用】



4月より常勤になりました西村友宏と申します。以前より興味があった福祉の現場に就くことができ、大変うれしく思っています。至らぬところあるかと思いますが、精一杯頑張らせていただきます。よろしくお願い致します。  
生活支援係 西村 友宏

## NEWS!

Café VIVO tree

いつもご利用いただきありがとうございます

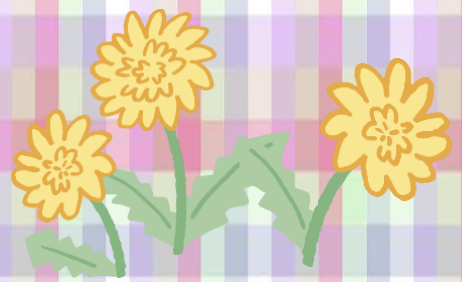
※カレーライス 始めました!

※季節限定! 生メロンジュース 好評発売中!

I ♥

### 【転入】

生活支援係の山田です。板橋区的生活介護施設から異動してきました。皆様の笑顔溢れる生活を支えていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。  
生活支援係 山田 健太郎



### 編集後記

今後も、大泉障害者支援ホームに関する情報を提供してまいりますので、ご意見、ご感想がございましたら、ホームまでご連絡ください。次回の「9丁目の仲間」は令和5年10月発行予定です。また、今回写真掲載するにあたり、皆様からの同意を得て発行しています。

広報誌担当 本野、中島美、藤井